

表. 評価・IR 担当者に必要な知識・スキル（ルーブリック）[H27.8 版]

能力等/段階の目安		初級	中級	上級
活動の設計	評価	評価（収集/分析）の目的や活動の設計の内容を理解できる。必要なデータとその分析手順について理解できる。	評価（収集/分析）の目的を明確にし、具体的な活動を概ね設計できる。即ち、必要なデータとその分析手順についてある程度設計することができる。	評価（収集/分析）の目的を明確にし、具体的な活動を設計できる。即ち、必要なデータとその分析手順について設計することができる。適切な状況把握のための指標の選定ができる。
	IR	収集/分析の目的や活動の設計の内容を理解できる。必要なデータとその分析手順について理解できる。	依頼内容から収集/分析の目的を明確にし、具体的な活動を概ね設計できる。即ち、必要なデータとその分析手順についてある程度設計することができる。	依頼内容から収集/分析の目的を明確にし、具体的な活動を設計できる。即ち、必要なデータとその分析手順について設計することができる。適切な状況把握のための指標の選定ができる。
収集	所在把握と入手	誰に依頼すれば、もしくはDBのどこにアクセスすれば必要なデータが得られるのか概ね把握しており、それらを入手できる。	誰に依頼すれば、もしくはDBのどこにアクセスすれば必要なデータが得られるのか把握しており、それらを入手できる。	既存のデータがない場合に新たな調査を実施したり、定義が曖昧な場合、それらを調整することができる。
	整理	入手したデータをオフィス内で再利用可能な形で整理して保管することができる。	入手したデータをオフィス内で再利用可能な形で整理して保管することができる。各データの定義や入手経緯等もまとめておくことができる。	入手した各種データを組み合わせた形で、他部署も使いやすい形でデータを整理することができる。データマネジメント組織としての活動を推進できる。
分析	文章とりまとめ	叙述資料をとりまとめて、整理することができる。	叙述資料の内容を精査し、校正することができる。	叙述資料について、目的に応じて適切な量の文章にまとめることができる。
	数量データ解析	数量的なデータを集計したり、グラフを作成することができる。	複数の数量的データを組み合わせる傾向や特徴を掴むなどの操作ができる。その上で、必要な表やグラフを作成することができる。	基礎的な統計学の知識を有し、データの持つ意味について客観的な考察ができる。
	解釈	傾向や現状を概ね説明することができる。	複数のデータから自大学の置かれた状況を概ね解釈することが出来る。	複数のデータから自大学の置かれた状況を解釈し、依頼者に分かりやすいストーリーを構成することができる。
活用支援(レポーティング)		指示を受けた表やグラフや報告書を提供できる。	依頼者の期待に応えた報告書の作成や、口頭報告を行うことができる。	依頼者の期待に加え、政策的な流れ、学内での経緯などを踏まえた報告書の作成や、口頭報告を行うことができる。継続的改善を見越した示唆をさりげなく盛り込むことができる。